

様式第 13 号

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における情報提供様式（任意記載）

本項目についての記載は、必須ではありません。下記記載様式を用いて、可能な範囲で記載して下さい。

医療機関名：山下レディースクリニック

治療実績について

※ 施設における、不妊治療による治療成績を記載して下さい。

（記載様式）

当院において、データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

【新鮮胚（卵）を用いた治療成績】

	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数（回）	56	0	101	157
移植総回数（回）	35	0	43	78
妊娠数（回）	7	0	4	11
生産分娩数（回）	5	0	3	8
移植あたり生産率（%）	14.3	-	7.0	10.3

IVF-ET：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split：採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI：採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

【凍結胚を用いた治療成績】

	融解胚子宮内移植
移植総回数（回）	142
妊娠数（回）	70
生産分娩数（回）	58
移植あたり生産率（%）	40.8

来院患者情報

※ 施設を受診した患者数について記載して下さい。

（記載様式）

データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数（実数）は

25歳未満：（ 1 ）名

25歳以上30歳未満：（ 24 ）名

30歳以上35歳未満：（ 90 ）名

35歳以上40歳未満：（ 92 ）名

40歳以上43歳未満：（ 56 ）名

43歳以上：（ 37 ）名

データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に精巣内精子採取術を行った患者数（実数）は

20歳未満：（ 0 ）名

20歳以上30歳未満：（ 0 ）名

30歳以上40歳未満：（ 2 ）名

40歳以上50歳未満：（ 1 ）名

50歳以上：（ 0 ）名

#### 治療指針について

※ 施設における統一された治療指針がありましたら記載して下さい。

（治療指針の例）

- ・治療のステップアップ・ステップダウンに関する考え方
- ・年齢に応じた治療の選択
- ・調節卵巣刺激法（自然周期・低刺激、高刺激等）の選択

等

ご夫婦によく状況を説明した上でご夫婦の考え、希望を十分に考慮して具体的な治療方針を提案させていただく。

基本的にはステップアップ法の考え方に則りできるだけ少ない負担で妊娠できるように努力する。年齢の高い方は卵子の質の低下が進み妊娠が困難になるが、卵子の質を改善できる有効な手段がないために早めのステップアップを提案する。特に40歳以上の方には不妊治療歴が短くても早期にARTへ進むことを有力な選択肢として説明している。

調節卵巣刺激法はその方の卵巣予備能に応じて提案する。卵巣予備能が保たれている方には高刺激を選択。現在はPPOS（黄体ホルモン併用法）を主力の卵巣刺激とする。高刺激で十分な採卵数が望めない場合のみ低刺激を提案する。採卵あたりの妊娠率は採卵数が多くなるほど高くなる。